

# 介護人材確保対策の強化

## 奈良県における取組

【担当省庁】厚生労働省



令和2年度第3次補正予算において、介護福祉士修学資金貸付事業の貸付原資積み増しに必要な資金を本県へ配分いただき、厚く御礼申し上げます。

### 1. 介護人材確保の状況

#### ○介護関係職種の有効求人倍率



・本県の介護関係職種の有効求人倍率は、**全国平均を上回る高い水準で推移**しており、依然として**人手不足感が強い状態が継続**している。

#### ○介護人材の需給推計 (第8期介護保険事業支援計画策定時における推計値)

	需要見込み	供給見込み	不足数
奈良県	30,835人	27,571人	▲3,264人

・令和7年度には、**介護人材の大幅な不足**が見込まれる。

**今後ますます介護人材の不足が進展することが見込まれ、人材確保の取組強化が必要**

### 2. 介護福祉士修学資金等貸付事業について

#### ○県内介護福祉士養成校における新規貸付決定数

		R1実績	R2実績	R3実績	R4見込	R5見込
介護福祉士養成校	既設校	定員数	80	80	80	80
		新規貸付決定数	7	19	20	20
	R2年度新設校(1校)	定員数	-	80	80	80
		新規貸付決定数	-	29	66	80
	R3年度新設校(1校)	定員数	-	-	25	25
		新規貸付決定数	-	-	2	20
新規貸付決定数(合計)		7	48	88	120	125

**留学生を受け入れる介護福祉士養成校の新設に伴い修学資金の貸付を希望する者が急増している**

# ○介護福祉士修学資金等貸付事業の所要額見込

(単位：千円)

		R2	R3	R4	R5
介護福祉士 修学資金	新規貸付数 (名)	48	88	120	125
	貸付決定額	78,344	147,840	201,600	210,000
事務費等 (実務者研修、再就職準備金、 福祉系高校修学資金返還充当資金、 障害福祉分野就職支援金、事務費)		16,837	61,500	60,000	67,400
A	年度所要額	95,181	209,340	261,600	277,400
B	年度当初 貸付原資残額	262,352	371,561	162,221	※ 0
年度末 貸付原資残額 (B-A)		371,561 (204,390千円積み増し)	162,221	▲ 99,379	▲ 277,400

※R4年度に99,379千円積み増した場合

①令和4年度120名の新規貸付を見込んでおり、令和4年度原資不足額(99,379千円)については早急に積み増しが必要

②令和5年度以降も125名規模で貸付した場合、毎年度277,400千円の原資積み増しが必要

## 国にお願いすること

介護福祉士修学資金貸付事業において、急増する需要の中でも継続的・安定的に事業が実施できるよう、引き続き貸付原資の積み増しに必要な生活困窮者就労準備支援事業費等補助金の配分をお願いしたい。

- ① 令和4年度当初 : 90百万円
- ② 令和5年度以降 : 250百万円/年

(国庫負担割合9/10相当額)